

(仮称) 蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (案) に対するパブリック・コメント概要

1. 案 件

(仮称) 蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (案)

2. 募集期間

平成27年10月6日 (火) ~ 10月26日 (月)

3. 意見の件数 (意見提出者数)

6件 (1人)

4. 意見等の概要

No.	意見の概要	市の考え方
1	SNSなどで自治体の情報が行きかかっており、他の自治体との競争にさらされている。特徴を出して積極的に若い世代を呼び込む必要がある。	本戦略では、蕨ブランドの創出やシティプロモーションの推進、子育てしたいまち情報発信事業などを具体的事業として掲げ、蕨市の地域資源を活用しながら、まちの魅力を若い世代にも積極的に発信してまいります。
2	子どもを育て、長く住み続けるには、産科・小児科があり、病院が選べるほど数があることが必要では。さらに、診療時間の延長も望む。	引き続き、地域の医療機関との連携を推進していくとともに、地域医療の要となる市立病院の充実を図る上での参考とさせていただきます。
3	少子化で学校がなくなればその地域に住む若い世帯はいなくなる。学校の質の向上と信頼の確保が必要だ。	蕨独自の少人数学級や特色ある学校づくり事業などの魅力ある教育や協働による地域に根ざした教育活動を展開し、ゆきとどいた教育を進めてまいります。
4	東京に頼らず市内に安定して高賃金の職場を作る。在宅ワークを推進するなど、雇用の確保が必要だ。	蕨市は、面積が日本一小さく、新たに事業等に活用できる一定規模以上の土地が極めて少ないため、企業誘致による大規模な雇用創出は難しいものと考えます。本戦略では、市内での新たな創業支援体制の強化や空き店舗有効活用、ワーク・ライフ・バランス事業等を実施してまいります。
5	公園の規制を緩和し、市民の交流の場に開放してはどうか。	公園での規制については、都市公園法に基づき、危険を伴うボール遊び等は禁止しておりますが、今後とも、公園を市民交流の場として、皆さんに親しまれる公園づくりを進めてまいります。
6	まちづくりについて、市民の活発な学習の環境づくりも必要だ。	市民参画を促すための生涯学習まちづくり出前講座をはじめ、蕨市生涯学習推進計画に基づき、地域の各種団体などと協働しながら、市民の活発な学習の環境づくりに努めております。また、本戦略では、市民と市が協働でまちづくりに取り組む協働事業提案制度の充実を進めてまいります。